

今後の葛西臨海水族園に求められること

- 環境問題が深刻化する中、人の営みと海との関係性にスポットをあて、**海の持続可能性を守るために取り組む**
- 環境教育を重要な保全活動の一つとし、あらゆる学びの機会を提供するプログラムの拡充を通じ、**広く環境保全につなげる**
- 水族館ならではの体験・交流等で**地域・都市の価値を高める**
- ⇒ **葛西臨海水族園こそ、水族館の特性とこれまでのノウハウとを融合させ、水族館が備える潜在力を多方面に発揮できる施設**

新たな水族園への第一歩を踏み出し、社会的責任を果たすべき

重視する点

- ① 海と人をつなぐ架け橋
- ② 持続可能な社会の実現に貢献
- ③ 生物多様性を守る
- ④ 世界においては日本、日本においては国内を代表する存在
- ⑤ 海の文化・歴史を伝える
- ⑥ 立地・施設のポテンシャルを発揮
- ⑦ ソフト・ハード両面でアクセシビリティを確保

※海は、河川等を含む水界全体のこと

新たな理念

- ミッション (社会的責任)**
- 海と人とのつながりを通し、海への理解を深める
 - 海に接する機会を創出する
 - 水族館のトップランナーであり続ける
- ビジョン (目指すべき将来像)**
- 海への興味・関心を高めることができる場を提供する
 - 私たちのライフスタイルの転換を促す
 - 豊かな海を未来に残す一翼を担う
 - 東京湾・海に関する文化・歴史を発信する
 - 海の未来を考え、行動する人材を育てる
 - 海を感じる魅力的な時間・空間を提供する

備えるべき機能と機能ごとの取組

○ 水族館・動物園が持つとされる4つの機能 → 6つの機能として独自に設定、関係性を整理



運営

- 利用者増加の視点**
- 親しみやすい名称等を検討
 - 長く親んでもらうファンの確保
 - 多言語化等のアクセシビリティの確保
 - 観光ニーズの把握
- 情報発信の視点**
- 撮影スポット等の情報発信の充実
 - 観光利用しやすいモデルルート等の発信
- 連携強化の視点**
- 新たな理念に共感する組織等と連携
 - 公園エリアで一日過ごすための連携
 - 展示する生態系の現地状況を受信するネットワークの構築
- 経営の視点**
- サービスに応じた利用料金の設定
 - 収益を運営者の裁量で使える仕組み
 - スタッフがやりがいを持てる環境の整備
 - サービスの質を向上する仕組み

施設

- 使いやすく魅力的な施設**
- バリアフリー対応とともにアクセシビリティを確保
 - 防災対策、実施体制を確保
 - 展示室等が有機的につながった空間づくり
 - 展示空間のデザインを工夫
- 機能発揮のための性能**
- 適切な施設規模、水処理施設等を確保
 - 飼育作業スペースの適正規模確保
 - 休憩所等は様々な利用ニーズに対応しやすいフレキシブルな計画
- メンテナンス及び環境負荷軽減**
- 主要施設の換装、改修しやすい配置等、持続可能な施設を前提とした計画
 - 計画・設計・施工全ての段階で環境負荷の軽減策を実施